

2025年度

学校推薦型選抜  
〔文化活動に優れた者の推薦〕  
(公募推薦)

書類予備審査申請書



東北学院大学

## ■文化活動に優れた者の推薦（公募推薦）について

本学の伝統・学風を理解し、それらを継承する意欲を持った学生を入学させるという学校推薦型選抜の趣旨に基づいて、入学者を選抜します。

多様な文化活動についての能力を有する学生を迎え、個別の能力のある学生を育成することで、社会に幅広く活躍できる人材を送り出すことにより文化活動の振興に寄与することを目指します。

### 【募集定員】

学部	学科	定員	学部	学科	定員
文 学 部	英文学科	3名	工 学 部	機械知能工学科	2名
	総合人文学科	1名		電気電子工学科	2名
	歴史学科	3名		環境建設工学科	2名
	教育学科	2名	地域総合学部	地域コミュニティ学科	2名
				政策デザイン学科	2名
経 済 学 部	経済学科	4名	情 報 学 部	データサイエンス学科	3名
経 営 学 部	経営学科	4名	人 間 科 学 部	心理行動科学科	2名
法 学 部	法律学科	5名	国 際 学 部	国際教養学科	2名

### 【出願資格】

次のすべてに該当する方です。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2025年3月卒業見込みの方
- (2) 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の方
- (4) 入学後も学業と学生団体での活動を両立させる強い意思と能力を持ち、4年間活動を続けることができる方
- (5) 学力・人物共に優秀であり、高等学校・中等教育学校在学中にクラブ活動等で活躍し、クラブの顧問等教員および学校長からの推薦による方
- (6) 「文化活動実績の評価等に関する書類予備審査」を受け、この書類審査により、受験資格を認められた方  
※ 対象となる文化活動は、本学が認める学生団体に限ります（次ページ参照）。

**文化活動に優れた者の推薦を希望する方は、総合型選抜A日程第二次選抜には出願できませんので注意してください。**

## ■書類予備審査申請について

出願を希望する方は、「文化活動実績の評価等に関する書類予備審査」を必ず受けてください。この書類審査により、受験資格を認めるかどうかを評価します。評価結果は評価通知日に出願者へ発送します。なお、審査料は無料です。

「東北学院大学 受験ガイド2025」の「文化活動に優れた者の推薦」（30～31ページ）の概要と、書類予備審査の内容をよく理解した上で申請してください。

### 【申請期間】

2024年9月13日（金）～9月19日（木） 15時必着

### 【提出先】

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目3-1 東北学院大学 アドミSSIONズ・オフィス 宛

### 【申請書類】

1. 文化活動に優れた者の推薦 書類予備審査申請書（様式1）
2. 文化活動の活躍の記録（様式2）
3. 出身学校の調査書 ※既卒者の方のみ

### 【申請方法】

必ず簡易書留郵便で、申請期間内に到着するようアドミSSIONズ・オフィスへ郵送してください。

封筒には「文化活動推薦書類予備審査申請書在中」と朱書きしてください。

### 【評価通知】

評価結果は、2024年10月4日（金）に出願者へ発送します。受験資格を認められた方には、対象団体の活動内容についての詳細を同封いたします。また、募集要項は本学ホームページにて公開します。

### 【感染症（インフルエンザ等）の対応について】

募集要項等に記載されている内容（選抜の方法、日程、会場など）に変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前に必ず確認してください。

## ■対象となる文化活動

文化活動名	団体名
応援団	応援団
チアリーディング	チアリーディングチーム
合唱	キャロラーズ（女声合唱）
	グリークラブ（男声合唱）
	宗教部聖歌隊（混声合唱）
吹奏楽	シンフォニック・ウインド・アンサンブル（S. W. E.）
美術	美術部
書道	書道研究部
英語	英語会（ESS）
演劇	演劇部
放送（制作・技術・アナウンス等）	放送会
ロボット製作	ロボット研究会

## 文化活動団体の活動内容

団体名	部員（団体員）数	部（団体）の主な活動内容
	主な活動場所（今年度）	
応援団	男4 女2	式典や体育会各部の応援を通じ、全学生のリーダーとして大学全体を盛り上げることを目的としています。青山学院大学や北海学園大学との定期戦、仙台六大学野球等では、チアリーディングチームやシンフォニックウインドアンサンブルと共に活動を行い、全日本学生応援団連盟演舞会にも参加しています。創団75年以上の歴史と伝統を誇り全国、東北地区応援団の統率校として活躍しています。
	五橋、土樋、泉キャンパス	
チアリーディングチーム	男0 女36	DAISYS（ダイジーズ）は、東北・北海道初のチアとして発足し、体育会の応援活動や式典・大学祭等の文化活動を推進し、学外のイベントへも多数参加する等、大学を広くアピールする活動をしています。仙台六大学野球リーグ戦応援のほか、青山学院大・北海学園大との定期戦では隔年東京と札幌へ遠征します。練習は週2回、シーズン中は土日も活動します。
	土樋キャンパス	
キャロラーズ（女声合唱）	男0 女0	2024年7月時点で部員がいないため活動を休止していますが、今後宗教部聖歌隊の有志によりグリークラブとキャロラーズの活動も行なうことを予定しています。活動休止前は週1回程度練習をしており、水曜礼拝での聖歌隊との合唱や、大学祭、クリスマス礼拝、宮城県合唱祭等、学内外のイベントに参加してきました。活動を再開する際には、同様の内容で活動する予定です。
グリークラブ（男声合唱）	男0 女0	
	土樋キャンパス	
宗教部聖歌隊（混声合唱）	男8 女25	「東北学院大学の真ん中で歌う合唱団として、音楽礼拝や大学祭で歌っています」毎年開催される「宗教音楽の夕べ」では高度な曲にもチャレンジして参加します。秋からは、クリスマス礼拝に向けてヘンデルの「メサイア」の練習を開始し、本番ではプロと共演します。
シンフォニックウインドアンサンブル（S. W. E.）	男29 女59	夏の吹奏楽コンクールと冬の定期演奏会を中心に、大学の諸行事での演奏や運動部への応援、ボランティア演奏など年間を通して精力的に活動を行っています。また、青山学院大学と北海学園大学との定期戦では隔年で東京と札幌に遠征し応援と演奏会を行います。仲間とともに協力し合いながら、日々目標達成に向けて演奏技術を磨いています。
	土樋・五橋キャンパス	
美術部	男3 女19	展示会にむけた作品制作を主に行っています。制作内容は多岐にわたり、水彩画や油彩画の他にも、道具や材料を工夫したアートを生み出す学生も多く在籍しております。また創作活動以外にも年に数回、部内のイベントも開催しております。
	土樋キャンパス	
書道研究部	男5 女27	創部61年目の団体です。七夕展・大学祭展覧会・卒業展など、学内外で作品を発表しています。大学祭や各イベントにおいて、書道パフォーマンスも披露しています。部員は初心者から高い技能を持つ者にいたるまで様々で、講師の指導のもと、確かな技能・知識を学ぶことを心がけています。週2回の練習、長期休暇時の強化練習・合宿など、それぞれのペースで和気藹々と練習を行っています。
	泉・土樋キャンパス	
英語会（ESS）	男4 女1	英語会(ESS)は本学文化活動団体で最古の歴史を誇る団体です。先輩たちの残した輝かしい業績を継承し、主に英語による演劇やスピーチ、ディスカッションなどの活動を行います。学内での活動だけでなく、他大学との交流も図りながら活動します。
演劇部	男20 女30	4、5月には新入生歓迎行事や公演会、7月には新入生を交えた公演を行っています。大学祭でも公演を行っています。2月には卒業公演を行い、年に4回の公演があります。また、年間を通して他大学や一般の劇団の公演やワークショップ、とうほく学生演劇祭などに参加し、演劇についての知識・技術を学んでいます。
	土樋キャンパス	
放送会	男25 女13	放送会は現在、38名が在籍しており、報道部、制作部、技術部の計3部で活動しています。主な活動内容はお昼の学院放送やラジオドラマ制作、ラジオ番組収録などです。この他に、不定期でYouTubeへの番組投稿も行っています。また6月に青山学院大学・北海学園大学で定期戦の取材を、8月に夏期合宿を行っています。さらに10月には大学祭（土樋：放送祭）に参加しています。
	泉・土樋キャンパス（スタジオ・会室）	
ロボット研究会	男5 女0	例年はロボットコンテスト出場や学祭での展示用のロボット開発を主な目標として活動しています。一方、当会はロボットメカトロ実践教育という面を持ち、講義等で習う専門知識に加えて実際にものづくりを経験することで、メカ、電子回路、ソフトウェアなど広範の技術を身につけます。活動も4年生や大学院生がいる研究室で行います。活動は五橋研究棟実験室で行います。
	五橋キャンパス研究棟	

※より詳細の説明については、予備審査通過者に改めてお送りします。

## ■書類予備審査申請記入上の注意

### 1. 文化活動に優れた者の推薦 書類予備審査申請書（様式1）

#### （1）記入にあたっての注意

- ・申請者本人が自筆でいねいに記入、捺印してください。
- ・黒のボールペンで記入してください。
- ・訂正の際は、訂正のように二重線を引き、訂正印を用いてください。修正液等は使用しないでください。
- ・用紙が同じ大きさであれば、申請用紙をコピーしたものに記入してもかまいません。

#### （2）「文化活動名」について

- ・「文化活動名」の欄は、高等学校・中等教育学校在学中に活動実績を有し、大学でも引き続き行う文化活動名を記入してください。前ページの「対象となる文化活動」を参照してください。
- ・「役割」の欄は、部長、副部長、会計、パートリーダーおよび担当の分野等（例えば、合唱であればパート、吹奏楽であれば楽器名、放送であればアナウンサー、ディレクター等）、文化活動で担った内容を記入してください。

#### （3）「主な活動・記録」について

- ・「主な活動・記録」の欄は、高等学校・中等教育学校での活動を学年ごとに記入してください。
- ・「主な出場大会・コンクール等」は、大会に出場した方のみ記入してください。大会・コンクール名は省略せず、必ず正式名称で記入してください。複数の大会に出場した場合は、成績の良い大会から順に2つ記入してください。
- ・大会やコンクール等で賞や順位がある場合は、大会の規模も含めて具体的な内容を「成績・記録・活動内容」の欄に記入してください。
- ・活動内で中心的な存在として活躍したことがあれば、その内容を具体的に記入してください。

##### ※2025年度選抜の特例

新型コロナウイルス感染症拡大により、各種の文化関係の行事や大会等が中止、延期、または規模縮小等がされている状況を考慮し、「主な活動・記録」に記載できない箇所があることをもって不利益を被ることがないように配慮いたします。

#### （4）「指導教員の所見」について

- ・高校生、中等教育学校生の方は、在学する学校の指導教員に記入してもらってください。学校外の団体に所属している活動の場合でも、必ず在学する学校の教員の記入が必要になります。
- ・所見を記入する教員は、クラス担任や部活動顧問の教員等、何らかの形で申請者を指導している教員であれば誰でもかまいません。
- ・既卒者の方は、記入不要です。

#### （5）「学習成績の状況」について

- ・指導教員が記入し、出願する時点での最新の学習成績の状況を記入してください。
- ・「全体の学習成績の状況」のほかに、学習成績の状況の高い5教科（5科目ではない）について教科名と学習成績の状況を記入してください。ただし、学科によって指定されている教科がある場合は、必ずそれを含めて5教科記入してください。
- ・既卒者の方の学習成績の状況は記入不要です。

### 2. 文化活動の活躍の記録（様式2）

- ・申請者本人が作成してください。様式1に記載した「主な活動・記録」について、資料を添付してください。添付資料として、賞状、認定証、新聞記事、雑誌等の切り抜きのコピーを枠内に重ならないように貼付してください。複数枚になる場合は様式2をコピーしてください。

※予備審査を希望する方は、団体の活動等をよくご理解いただくため、当該団体と連絡を取ることをおすすめします。

お問い合わせ： 東北学院大学 学生部 学生課 TEL 022(264)6471

審査番号

※この欄には記入しない

東北学院大学  
2025年度学校推薦型選抜  
文化活動に優れた者の推薦

2024年 月 日

## 書類予備審査申請書

志望学部学科	第一志望	学部	学科
	第二志望	学部	学科

※志望学科は第2志望まで必ず記入すること。ただし、文系(文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際学部)は文系内、工学部は工学部内とする。

フリガナ				都・道 府・県	国立・公立・私立
氏名	印			出身校	学校
生年月日	(西暦) 年 月 日	性別	男・女		(西暦) 年 3月
現住所	郵便番号	—	電話	—	—
	都・道 府・県				

文化活動名	高校での文化活動・団体名	役割(部長・副部長・楽器・パートなど)

主な活動・記録			
1 学 年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		
2 学 年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		
3 学 年	主な出場大会・コンクール等	①	②
	成績・記録・活動内容		

■ 大会・コンクール名は省略せず、必ず正式名称で記入してください。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大により、各種の文化関係の行事や大会等が中止、延期、または規模縮小等がされている状況を考慮し、「主な活動・記録」に記載できない箇所があることをもって不利益を被ることがないように配慮いたします。

■ (様式1)1/2ページ、2/2ページを両面印刷し、裏面も必ず記入してください。



## 文化活動の活躍の記録

氏名		枚中の
<h2>重ね貼り禁止</h2> <p>(貼付資料が複数枚ある場合はこの用紙をコピーし、貼付してください)</p>		
<p><b>【注意】</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>賞状、認定証、新聞記事、雑誌等の切り抜きのコピーを<b>この枠内に貼付</b>してください。(A4判 80%程度に縮小してください。)</li><li>各貼付物には大会名、年・月、掲載紙誌名を添え書きしてください。</li><li><b>添付資料は重ね貼りをしないでください。</b>大きいものはこの用紙の枠からはみ出さないように縮小コピーしてから貼付してください。</li><li>用紙が複数枚必要な場合は、この用紙をコピーして貼付してください。この用紙が複数枚になったとき、例えば3枚の場合は右上の「枚中の」は3枚中の1、3枚中の2、3枚中の3と記入してください。</li></ol>		